

新製品ニュース（微小表面欠陥検査装置）

μ Defect Inspector（分離タイプ）が誕生しました。

ガラス板のような形状品の欠陥検査を実現しました。



検査対象

表面で光を反射する材質であれば検査できます。

板形状、異形状などに対応します。

球形状、丸棒・パイプ・チューブ形状にも使用できます。（複数個構成で対応）

検査方法

複数の受光素子内に反射光を投影し、その変化で欠陥を検出しています。

（弊社特許取得技術）

特長

投光、受光センサを分離式にしたので、様々な形状品の表面検査に対応できます
高速サンプリングで測定しますので、微小欠陥の検出ができます。

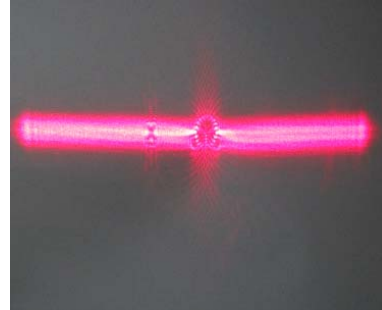
（深さ数 μ mの欠陥を検出しています 実験値）

受光センサが複数素子構成となっているので、位置ずれに対応できます。

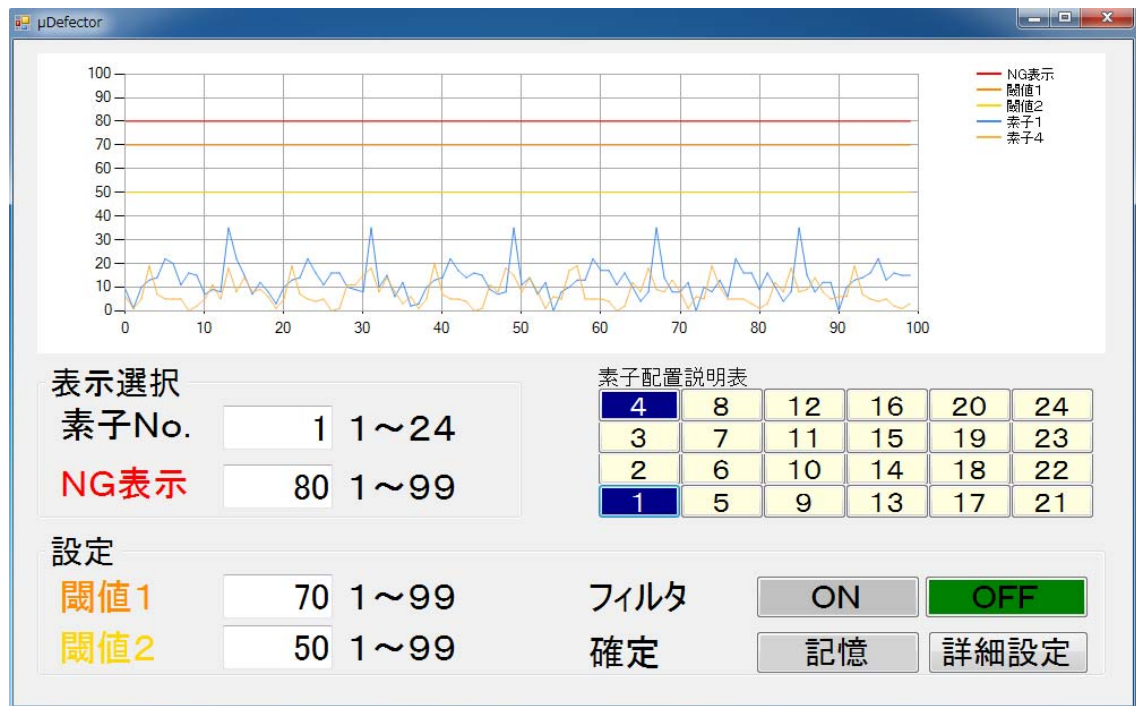
新製品ニュース（微小表面欠陥検査装置）

使用例

ガラス板の表面キズ、内部気泡を同時一括検査します。



モニタ画面



選択した受光素子の測定データがグラフ表示されます。

任意の閾値にて、OK/NGの判定を行います。

NG判定時は外部信号が出力されます。

NG判定データは自動保存されます。